



暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。
体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。
普段からの外遊びで体を鍛え、喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

知っておこう！子どもの病気

●ヘルパンギーナ

主に夏に流行するウイルス感染症で、乳幼児に多いです。突然の高熱と口の中に水疱や潰瘍ができるため強い喉の痛みが特徴です。特効薬はなく対症療法が中心になります。こまめな水分補給で脱水を予防し、安静や手洗いを徹底することが重要です。

●咽頭結膜熱（プール熱）

高熱、のどの痛み、目の充血が特徴です。特効薬はなく対症療法が基本になります。解熱や水分補給、安静が重要です。感染力が強いため手洗い・消毒をするとともに、タオルの共有は避け、接触感染対策を徹底しましょう。

爪はきれいかな？



子どもたちは様々な物に触れるため、爪（つめ）の中に汚れが入ったり、伸びていると欠けたりしてしまいます。汚れが溜まると炎症を起こし、爪の病気になってしまうので、手洗いで落としきれない汚れは、お風呂できれいに落としてあげましょう。



また、爪が長いとどこかにひっかけてしまったり、お友達を傷付けてしまうことにもなりかねません。おうちでは定期的に切ってくださいるようにお願いいたします。

夏の利用状況



【主な病名・感染症】

喘息性気管支炎 咽頭炎
感冒・感冒嘔吐症 水痘

こぐまちゃんちを のぞいてみよう！！

「今日のおひるは何だろうなあ？」と聞いてきたHちゃん…♪

Hちゃんの好きなものは？と聞くと

「おにぎり〜！」

「中は何が良いの？」と聞くと

「しゃけ〜！おいしいよね。先生も好き？」

「好きだよ〜」と言うと

「おいしいよね〜♪」と

しゃけ推し！のHちゃんでした。



病児保育室食事料金改定のお知らせ

2026年4月より食事代が600円になりました。

何卒ご理解のほどよろしく申し上げます。

熊谷生協病院
病児保育室こぐまちゃんち
048-524-3841

